



令和5年度

# 学校要覧



高根中学校校歌

作詞 鈴木英司  
作曲 中嶋 昭

一、見晴らし遠き

高台の

白くそびゆる

学び舎よ

集う若人

志気に燃え

理想かざして

励まなむ

われら

船橋高根中

二、拓くる大地

踏み立てば

みなぎる力

湧く泉

精神と身体

鍛えつつ

高き文化を

育くまむ

われら

船橋高根中

三、緑の園に

降りそそぐ

あやなす光

身に浴びて

ともに知性を

磨き合ひ

輝く歴史

築かなむ

われら

船橋高根中

## 船橋市立高根中学校

〒274-0814 船橋市新高根1-17-2

電話 047-464-3811

FAX 047-464-3807

# I 沿革の概要等

## 1 沿革

昭和

48.4.1	船橋市立高根中学校として開校	初代校長 鈴木英司、教職員 20 名、生徒総数 372 名(9 学級)				
48.4.6	入学式	入学生 187 名	生徒総数 372 名(9)			
49.4.6	入学式	入学生 234 名	生徒総数 646 名(16)	50.3.15 第 2 回	卒業式	卒業生 177 名
50.4.6	第2代校長 椎名 誥亮					
	入学式	入学生 332 名	生徒総数 881 名(19)	51.3.15 第 3 回	卒業式	卒業生 233 名
51.4.6	入学式	入学生 436 名	生徒総数 1019 名(24)	52.3.15 第 4 回	卒業式	卒業生 245 名
52.4.6	入学式	入学生 394 名	生徒総数 1104 名(26)	53.3.11 第 5 回	卒業式	卒業生 330 名
53.4.6	入学式	入学生 452 名	生徒総数 1221 名(28)	54.3.11 第 6 回	卒業式	卒業生 383 名
54.4.6	第3代校長 巽 正夫					
	入学式	入学生 407 名	生徒総数 1242 名(29)	55.3.13 第 7 回	卒業式	卒業生 377 名
55.4.7	入学式	入学生 461 名	生徒総数 1309 名(30)	56.3.13 第 8 回	卒業式	卒業生 422 名
56.4.7	入学式	入学生 458 名	生徒総数 1307 名(30)	57.3.17 第 9 回	卒業式	卒業生 402 名
57.4.6	第4代校長 本城 光二					
	入学式	入学生 500 名	生徒総数 1397 名(31)	58.3.12 第 10 回	卒業式	卒業生 438 名
57.11.13	創立 10 周年記念式典					
58.4.6	入学式	入学生 436 名	生徒総数 1388 名(31)	59.3.13 第 11 回	卒業式	卒業生 444 名
59.4.6	入学式	入学生 440 名	生徒総数 1358 名(31)	60.3.13 第 12 回	卒業式	卒業生 493 名
60.4.6	入学式	入学生 466 名	生徒総数 1330 名(31)	61.3.13 第 13 回	卒業式	卒業生 432 名
61.4.7	入学式	入学生 418 名	生徒総数 1318 名(31)	62.3.13 第 14 回	卒業式	卒業生 442 名
62.4.7	第5代校長 高梨 和宏					
	入学式	入学生 368 名	生徒総数 1236 名(30)	63.3.13 第 15 回	卒業式	卒業生 452 名
63.4.1	市教委 CAII 研究指定(3 か年)			平成		
63.4.6	入学式	入学生 319 名	生徒総数 1095 名(27)	1.3.13 第 16 回	卒業式	卒業生 409 名

平成

1.4.1	県教委 CAI 研究指定(2 か年)					
1.4.6	入学式	入学生 317 名	生徒総数 1003 名(25)	2.3.13 第 17 回	卒業式	卒業生 367 名
2.4.7	入学式	入学生 284 名	生徒総数 914 名(24)	3.3.13 第 18 回	卒業式	卒業生 320 名
2.10.16	CAI 研究公開発表					
3.4.6	第6代校長 西澤 悟					
	入学式	入学生 259 名	生徒総数 845 名(22)	4.3.12 第 19 回	卒業式	卒業生 311 名
4.4.7	入学式	入学生 227 名	生徒総数 763 名(21)	5.3.12 第 20 回	卒業式	卒業生 281 名
4.10.31	創立 20 周年記念式典					
5.3.31	ランチルーム・給食施設竣工					
5.4.6	第7代校長 皆川 征夫					
	入学式	入学生 234 名	生徒総数 708 名(19)	6.3.11 第 21 回	卒業式	卒業生 256 名
6.4.6	入学式	入学生 227 名	生徒総数 673 名(18)	7.3.10 第 22 回	卒業式	卒業生 221 名
7.4.6	第8代校長 末吉 昭任					
	入学式	入学生 188 名	生徒総数 638 名(17)	8.3.12 第 23 回	卒業式	卒業生 225 名
8.4.6	入学式	入学生 172 名	生徒総数 585 名(16)	9.3.11 第 24 回	卒業式	卒業生 226 名
8.11.1	千葉県教育功労賞団体の部受賞					
9.4.7	入学式	入学生 176 名	生徒総数 530 名(15)	10.3.10 第 25 回	卒業式	卒業生 184 名
10.4.7	第9代校長 古木 純雄					
	入学式	入学生 145 名	生徒総数 491 名(14)	11.3.10 第 26 回	卒業式	卒業生 174 名
11.4.6	第10代校長 関根 誠治					
	入学式	入学生 155 名	生徒総数 465 名(13)	12.3.10 第 27 回	卒業式	卒業生 164 名
12.4.6	入学式	入学生 151 名	生徒総数 447 名(12)	13.3.9 第 28 回	卒業式	卒業生 140 名
13.4.1	市教委選択教科研究指定(3 か年)					
13.4.6	入学式	入学生 132 名	生徒総数 438 名(12)	14.3.9 第 29 回	卒業式	卒業生 158 名
14.4.8	第11代校長 西崎 勝則					
	入学式	入学生 139 名	生徒総数 416 名(12)	15.3.11 第 30 回	卒業式	卒業生 151 名
14.10.31	創立 30 周年記念式典					
15.4.8	第12代校長 佐々木 清美					
	入学式	入学生 135 名	生徒総数 402 名(12)	16.3.10 第 31 回	卒業式	卒業生 125 名
15.10.9	選択教科研究公開授業					
16.4.8	入学式	入学生 135 名	生徒総数 410 名(12)	17.3.10 第 32 回	卒業式	卒業生 139 名
17.4.8	第13代校長 大勝 睦美					
	入学式	入学生 121 名	生徒総数 389 名(12)	18.3.10 第 33 回	卒業式	卒業生 135 名
18.4.7	入学式	入学生 126 名	生徒総数 375 名(11)	19.3.9 第 34 回	卒業式	卒業生 128 名

19.4.10	第14代校長 生方 己喜夫 入学式 入学生 127名 生徒総数 377名(12)	20.3.10 第35回 卒業式 卒業生 122名
20.4.8	入学式 入学生 128名 生徒総数 384名(12)	21.3.10 第36回 卒業式 卒業生 129名
21.4.8	第15代校長 内藤 康雄 入学式 入学生 122名 生徒総数 377名(12)	22.3.10 第37回 卒業式 卒業生 125名
22.4.1	市教委研究奨励校【確かな学力の向上】(2か年)	
22.4.8	入学式 入学生 109名 生徒総数 366名(12)	23.3.15 第38回 卒業式 卒業生 130名
23.4.8	入学式 入学生 121名 生徒総数 357名(11) 体育館耐震工事	24.3.14 第39回 卒業式 卒業生 124名
24.4.1	市教委研究奨励校【確かな学力の向上】(2か年)	
24.10.31	創立40周年記念式典	
25.4.10	第16代校長 村松 二郎 入学式 入学生 119名 生徒総数 351名(11)	25.3.13 第40回 卒業式 卒業生 108名
25.4.9	入学式 入学生 119名 生徒総数 364名(12)	26.3.13 第41回 卒業式 卒業生 125名
26.4.8	第17代校長 平石 武 入学式 入学生 145名 生徒総数 385名(13)	
26.10.31	船橋市教育功労団体の部受賞	27.3.13 第42回 卒業式 卒業生 120名
27.4.8	入学式 入学生 102名 生徒総数 370名(11)	28.3.13 第43回 卒業式 卒業生 122名
28.4.8	第18代校長 齊藤 守 入学式 入学生 116名 生徒総数 362名(11)	29.3.10 第44回 卒業式 卒業生 145名
29.4.8	入学式 入学生 101名 生徒総数 316名(10) (体育館照明LED工事, 2棟トイレ改修工事下水道工事)	30.3.15 第45回 卒業式 卒業生 100名
30.4.10	入学式 入学生 114名 生徒総数 330名(11)	31.3.14 第46回 卒業式 卒業生 115名
31.4.9	第19代校長 今泉 淑子 入学式 入学生 131名 生徒総数 341名(10)	令和 2.3.15 第47回 卒業式 卒業生 102名
令和		
2.6.2	入学式 入学生 117名 生徒総数 359名(11)	3.3.12 第48回 卒業式 卒業生 111名
3.4.8	第20代校長 田邊 健司 入学式 入学生 106名 生徒総数 354名(12)	4.3.9 第49回 卒業式 卒業生 132名
4.4.1	市教委研究奨励校【主権者教育】(2か年)	
4.4.8	入学式 入学生 131名 生徒総数 356名(11)	
4.10.29	創立50周年記念式典	
5.4.10	第21代校長 宮山 祐子 入学式 入学生 117名 生徒総数 356名(11)	5.3.10 第50回 卒業式 卒業生 117名

## 2 学区

学区は船橋市の中央に位置し、新高根、高根町と緑台からなっている。かつては農業が中心の地域であったが、その後、住宅地として急速に開発され、昭和57年度には生徒数1397名を数えるまでになった。しかし近年はやや減少傾向である。保護者のほとんどはサラリーマンであり、教育への関心や期待は高い。

## 3 生徒数(令和5年5月1日現在)

	1年	2年	3年	合計
男	61	71	62	194
女	56	59	47	162
計	117	130	109	356
学級	4	4	3	11

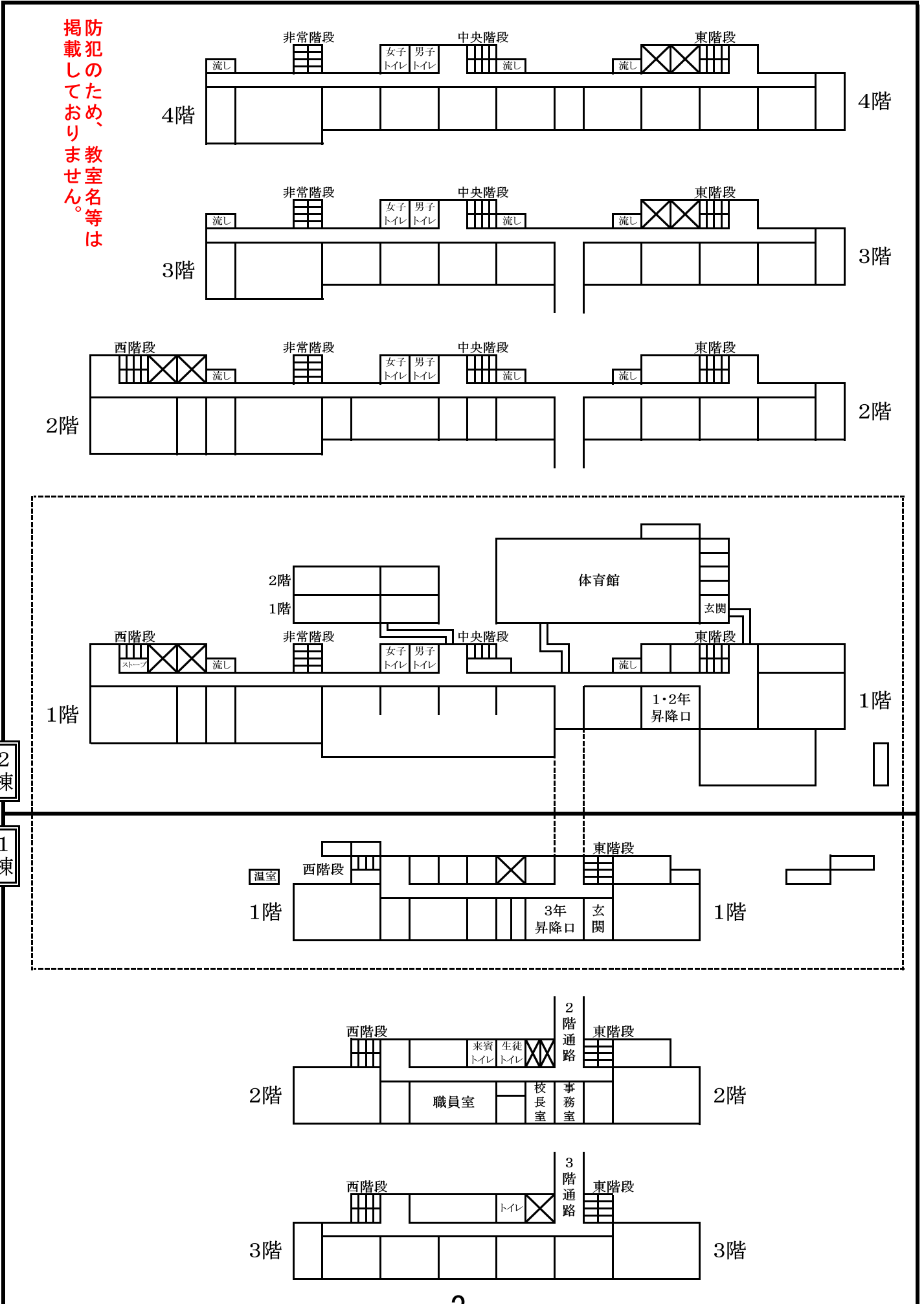
## 4 校地校舎等の概要

		校地面積	建物	屋外運動場	その他	
		25965㎡	8948㎡	12990㎡	4477㎡	
教室等室数	管理室	8	図書室	1		
	普通教室	11	保健室	1		
	特別教室	理科室	3	体育館	1	
		音楽室	2	配膳室	1	
		ランチルーム	5	調理室	1	
		美術室	2	プール	1	
		技術家庭	4	PC室	1	
視聴覚室	1	その他	32			

II 校舎配置図

高根中学校 校舎配置図 令和5年度

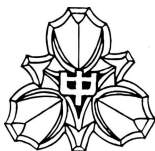
防犯のため、  
掲載しておりません。



### Ⅲ 職員一覧表

	氏名	学年等	教科	校務分掌	部活	本校年数
1		校長		学校経営		1
2		教頭	国語	学校経営補佐	陸上競技・ソフトテニス	2
3		教務主任	数学	教育課程	水泳 剣道 体操 等	1
4		生徒指導主事 (2学年副担任)	保健体育	生徒指導部長 体育主任	バスケットボール	2
5		1学年主任 1年1組担任	社会	給食主任	野球	8
6		1年2組担任	保健体育	保健主事	陸上競技	1
7		1年3組担任	音楽	特別活動指導部長	吹奏楽	5
8		1年4組担任	国語	安全主任 部活動担当	バスケットボール	4
9		1年副担任	技術・数学	管理部長	サッカー	1
10		1年副担任	英語	情報主任 ICT担当	吹奏楽・美術	1
11		2学年主任 2年1組担任	理科	学習指導部長	ソフトテニス	5
12		2年2組担任	国語	道徳教育推進教師 図書主任	バレーボール	3
13		2年3組担任	理科	視聴覚主任	水泳 剣道 体操 等	3
14		2年4組担任	家庭・社会	特別支援CD	バスケットボール	1
15		2年副担任	英語	特別活動指導部	バレーボール	1
16		3学年主任	美術	学籍担当	バレーボール	3
17		3年1組担任	数学	研究主任	野球	3
18		3年2組担任	社会	生徒会担当	サッカー	4
19		3年3組担任	理科	進路指導主事	美術	5
20		3年副担任	英語	国際理解教育	水泳 剣道 体操 等	1
21			保健体育			3
22		養護教諭		モラルアップ委員長 セクハラ相談員		2
23		栄養教諭		給食事務 給食指導		3
24		主事		県会計 就学援助		5
25		市事務		市会計 学校諸経費		3
26		用務員		学校環境 営繕		1
27		理科実験事務		理科事務 実験準備		3
28		学校司書		図書館運営管理		4
29		スクール カウンセラー		生徒指導支援		3
30		A L T	英語	英語科補助 (水・木・金)		2

## IV 学校経営方針



令和5年度 船橋市立高根中学校

校長 宮山 祐子

### 1 教育の目的

- (1) 「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」 【教育基本法第1条（教育の目的）】
- (2) 「生涯学び活躍できる環境を整え、生涯学習社会を実現する。」  
「自立して、主体的に社会に関わることができる子供を育成する。」  
【船橋の教育2020（教育目標）－船橋市教育振興基本計画－】

### 2 学校教育目標

- (1) さわやかな挨拶ができる生徒 (礼儀)  
(2) 自ら学ぶ生徒 (自学)  
(3) 身体をきたえ心をみがく生徒 (錬磨)  
(4) 進んではたらく生徒 (勤労)

#### 《2023生徒努力目標》

文武両道 ⇒ 自分の「夢」を実現するために！

- ただしく、たくましく(心身ともに)→礼儀
- かっばつで(自学：学習活動・部活動→錬磨)
- ねばりづよい(自学・勤労)

生徒になること

#### 《めざす学校像》

- 生徒を大切に作る学校
- 元気な挨拶ができる学校
- 大きな歌声が響く学校
- きれいな学校(黙動清掃)
- 地域とともに歩む学校

#### 《めざす教師像》

- 信頼される教職員
- 資質・能力を高める教職員
- 協力性のある教職員
- 職責を果たす教職員
- 心身ともに健康な教職員

### 3 学校経営の基本方針

「わかる授業」と「見える学校」で  
家庭・地域から「信頼される学校」づくり

- (1) 高根中学校の伝統や生徒・地域の実態を踏まえた教育活動を充実させ、より良い高根中学校の創造に努める。

- (2) 21世紀を担う生徒に「生きる力」を育成するため、生徒一人一人の理解を基礎にして、知・徳・体のバランスのとれた、たくましい生徒の育成に努める。
- (3) 教職員の資質・能力の向上のため、研修活動の充実を図る。
- (4) 清潔で安全、心安らぐ教育環境づくりを行う。
- (5) 教職員間の意志の疎通を図り、チームワークを大切にし、力を合わせて組織的で機動力のある学校運営に努める。
- (6) ホームページや学校だより、学年だよりなどを充実させ「見える学校」づくりに努め、家庭・地域に信頼される開かれた学校づくりを推進する。

#### 4 今年度の経営の最重点と方策

- (1) 学力向上を目指す取り組み・校内研究の推進
  - ・「個別最適な学び」へのアプローチを図る。
  - ・「主権者教育」(研究奨励校)に関する研究を組織的に進める。
  - ・目的(テーマ)を明確にした授業研究を1人1回実施する。
- (2) 特別支援教育の推進
  - ・特別支援教育校内委員会を充実させ、支援体制を整える。
  - ・特別支援教育に関する研修を充実させ、教職員の知識・技能・実践力の向上を図る。
  - ・個別の指導計画を作成するとともに、関係諸機関との連携を図る。

#### 5 経営の重点と方策(継続)

- (1) 特色ある教育活動の推進
  - ・「元気な挨拶、大きな歌声、黙働清掃」を実践する学校づくりを継続する。
  - ・「朝読書」の時間を活用し、自ら進んで読書に取り組む意欲・態度と豊かな情操を育成する。
- (2) 質の高い学習指導の推進
  - ・基礎的な知識及び技能を習得させ、思考力・判断力・表現力を育てるために言語活動の充実を図るとともに、学びに向かう力、人間性を育むことを目指す。
  - ・資質・能力を育むために、教科部会を活発化し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を通して、「わかる授業」の展開に努める。
- (3) 生徒指導・道徳・人権教育の充実 <いじめのない学校づくり>
  - ・組織的な生徒指導をより一層推進し、教育相談活動を充実させ、生徒との信頼関係づくりのさらなる構築を図る。
  - ・道徳教育の要となる道徳科の授業を充実させ、生徒の道徳的実践力の育成を推し進める。
- (4) 健康安全・食に関する指導の充実
  - ・健康安全指導の徹底を図り、健康で安全な生活習慣を確立する。
  - ・給食指導等で「食に関する指導」の充実を努め、その指導の徹底を図る。
- (5) 開かれた学校づくりと地域社会との連携
  - ・家庭・地域との連携に努め、授業参観等の教育活動を積極的に公開するなどして、開かれた学校づくりを推進する。
  - ・学校ホームページや学校だより等により、学校の情報を積極的に発信する。
  - ・学校評議員会を充実させるとともに、学校評価を生かした学校経営に努める。

## VI 教育課程

### 1 教育課程編成の考え方

年間を2期(前期20週、後期15週)に分ける。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
期	前期(20週)(～10月3週)							後期(15週)(10月4週～)				

<1学年>	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 家庭	外国語	道徳	特別 活動	選択	総合	合計
標準時数	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	0	50	1015
前期20週 時数	4	3	4	3	1.5	1.5	3	2	4	1	1	0	1	29
後期15週 時数	4	3	4	3	1	1	3	2	4	1	1	0	2	29

<2学年>	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 家庭	外国語	道徳	特別 活動	選択	総合	合計
標準時数	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	0	70	1015
前期20週 時数	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	0	2	29
後期15週 時数	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	0	2	29

<3学年>	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 家庭	外国語	道徳	特別 活動	選択	総合	合計
標準時数	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	0	70	1015
前期20週 時数	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	0	2	29
後期15週 時数	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	0	2	29

### 2 日課時刻表

	平 常 日 課		月	火	水	木	金	短縮45分日課(昼食・清掃あり)			
	5時間授業	6時間授業						4時間授業	5時間授業	6時間授業	
職員打合	8:10～8:20										
予 鈴	8:15 (チャイム)										
生徒登校	8:20 (チャイム)										
朝読書	8:20～8:30										
朝の会	8:30～8:40										
1校時	8:45～9:35	①	⑦	⑬	⑰	⑳	8:45～9:30				
2校時	9:45～10:35	②	⑧	⑭	⑱	㉕	9:40～10:25				
3校時	10:45～11:35	③	⑨	⑮	㉑	㉖	10:35～11:20				
4校時	11:45～12:35(チャイム)	④	⑩	⑯	㉒	㉗	11:30～12:15(チャイム)				
昼休み	12:35～13:20	※千教研の日程 短縮45分授業×4時間 (4校時終了時刻12:15) 帰りの会(12:20～12:30)					12:15～13:00				
予 鈴	13:20 (チャイム)						13:00 (チャイム)				
5校時	13:25～14:15	⑤	⑪	⑰	㉓	㉘		13:05～13:50	13:05～13:50		
6校時		14:25～15:15	⑥	⑫	⑱	㉙			14:00～14:45		
清 掃	14:20～14:30	15:20～15:30						13:05～13:15	13:55～14:05	14:50～15:00	
帰りの会	14:35～14:45	15:35～15:45						13:20～13:30	14:10～14:20	15:05～15:15	



## Ⅶ 研究計画

### 1 研究主題

主体的、協働的に課題を追求し続ける生徒の育成 ～主権者教育の研究を通して～

### 2 研究内容

- (1) 各教科・特別活動（学級活動）・総合的な学習の指導においては、主体的、協働的な生徒の育成のため、授業形態や学習課題、指導のあり方等について考え、実践する。
  - \*社会科指導においては、特に公民的資質の向上を図る。
  - \*各教科研究主題にそった授業研究を1人1回実施する。（7月または12月を推奨）
  - \*経験3年目までの教諭は、ICTを活用した授業研究を行う。（9月または1月を推奨）
- (2) 授業における話し合い活動の形態や方法を検討し、授業で積極的に話し合い活動を設定する。
- (3) 各教科・特別活動・総合的な学習での指導において、船橋市や身近な地域の話題にふれる機会をつくり、生徒が住んでいる地域に対し興味関心を持てるようにする。
- (4) 生徒会活動においては、学校生活の向上について自分たちで考え、行動する活動となるように、活動内容や運営について考え、実践する。
- (5) 特別活動指導部において、計画的に話し合い活動を設定し、全校で取り組む。
- (6) こども未来会議室への取り組みを通して、社会参画力を育成する。
- (7) 主権者教育意識調査や、全国学力学習状況調査を活用し、生徒の実態を分析する。

### 3 各指導部主題

#### (1) 学習指導部

- ①学び方がよくわかり、達成感のある授業づくりに努める。
  - ・基礎・基本を大切にして、個を生かしたわかりやすい授業の実践に努める。
  - ・情報交換と研鑽の場としての教科部会を充実させる。
- ②主体的に学習できる集団づくりにつとめる。
  - ・中学生としての授業への取り組みのマナーを指導する。
- ③学習環境を整え、清潔で落ち着きのある環境作りに努める。
  - ・生徒の活動が見えるもの、また、時期に相応しいものを適切な場所に展示する。
  - ・視聴覚機器、chromebook等の有効な活用を図る。

#### (2) 生徒指導部

生徒指導の3機能を生かして主体性・協働性を高め、自己指導能力を高める。

《基本方針と指導の重点》

- ①校内の生徒指導体制を確立し、全職員がそれぞれの特性を活かし、責任をもって生徒の指導にあたる。
- ②学習、行事、生徒会活動、部活動を充実させ、主体性と協働性の向上を図る。
- ③「生活のルール」を全校で確認し、基本的生活習慣・きまりを自ら守ろうとする自己指導能力（自治の心）の育成を図る。
- ④生徒と共に行動し、問題行動の早期発見と早期指導にあたる。
- ⑤家庭、地域との連携を密にし、信頼を得る。

#### (3) 特別活動指導部

生活上の課題解決を通して集団や自己の生活を向上させていこうとする生徒の育成を図る。

- ①学級活動 生徒理解の立場に立ち、発達的特質を踏まえながら、3年間を見通して指導する。
- ②生徒会活動 生徒の自主的な活動を重視し、各委員会活動の活性化、リーダーの育成を図る。
- ③学校行事 「体育祭」、「合唱コンクール」等の活動を生徒会と連携し充実を図る。